

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	岩手県大船渡市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	大船渡市文化遺産を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>大船渡市総合計画（後期基本計画）に基づき、地域の歴史と風土に根ざした文化資源の保存・活用を図るとともに、市民の文化活動を推進するため、下記の取組を実施する。</p> <p>※大船渡市総合計画（後期基本計画）のURL http://www.city.ofunato.iwate.jp/www/contents/1322626864294/</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 教育委員会生涯学習課：各補助事業における文化財の取り組み等に関する指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会（委員長：平山徹） 構成団体（一般社団法人大船渡市観光物産協会、NPO法人ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク、大船渡市伝統芸能振興会、大船渡市）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 35,062 千円	平成29年度申請額： 7,186 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>(1) 被災芸能団体との交流を通じ、市内の郷土芸能を県内外に発信することで復興に向けて着実に歩みを進めている大船渡市の姿を広くPRすることが出来る。</p> <p>(2) 市民の地域の文化遺産に対する意識が高まり、郷土の伝承活動に対する誇りと自信につながる。</p> <p>(3) シンポジウムを通じて、東日本大震災の被災地における民俗芸能の役割やあり方について理解を深めることが出来る。</p> <p>(4) 継承事業を通じて、今後の大船渡市の郷土芸能を担う青少年の技術を高め、固有の芸能の歴史・由来・芸能について理解を深めることで、郷土芸能に対する意識の高揚を図る。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
歴史文化基本構想の作成計画は未定だが、今後市内の歴史文化の総合的保存・活用の方法を検討していく。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	大船渡市教育委員会生涯学習課（文化財係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	地域に誇りを感じる住民の割合					(具体的な指標は次のとおり)
具体的な指標 1 :	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合 (市民意識調査)			関連事業:	事業①から④	
目標値 1 :	平成 26 年度	79.4 %	⇒	平成 33 年度	80.0 %	
設定根拠 1 :	大船渡市総合計画 (後期基本計画) の成果指標である市民意識調査の最終目標値が80.0%であるため。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
%	%	%	%	%	%	

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	「黄金けせん!民俗芸能大祭Part 3」 共演事業		実施団体：	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	「黄金けせん!民俗芸能大祭Part 3」を開催する。 福島・宮城両県の被災芸能団体を招聘し、「被災から伝承へ」をテーマに語り会い共演を通し、けせん・大船渡市に伝えられている鎮魂芸能の特徴を比較しながら一般市民の理解を深め、愛護思想の普及と今後の伝承活動に対する意識の高揚を図る。						
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数			(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	平成29年度から平成33年度までの間に100人(各年20人)の新会員を確保する。						
目標値：	平成 29 年度		20 人		⇒ 平成 33 年度		100 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
人	人	人	人	人	人		
事業②：	「大船渡芸能まるごと体験館」実施事業		実施団体：	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会			
事業区分：	普及啓発		事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度			
事業概要：	大船渡の芸能を見る・聞く・習う、ワークショップ「大船渡芸能まるごと体験館」を実施する。 大船渡の伝統芸能と現代芸術が繋がることによって、三陸大船渡の持っている豊かな文化・芸能・芸術を再発見し、その貴重な価値を全国に情報発信することにも繋がる。また、企画・運営においては青年層を起用するなど各芸能団体の創意工夫を發揮させ、伝承活動に対する誇りと自信を培う。						
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	「芸術文化にふれる機会がある」と答えた市民の割合(市民意識調査)						
目標値：	平成 28 年度		30 %		⇒ 平成 33 年度		40 %
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
%	%	%	%	%	%		

事業③：	「2017シンポジウム 被災地芸能の現状と未来」開催事業					実施団体：	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	<p>民俗芸能団体のみならず、広く一般市民の理解を深める機会と位置付け、「シンポジウム2017～被災地芸能の現状と未来～」を開催する。被災地芸能の現状と未来をテーマに基調講演を行い、共通する課題や将来展望について討論し、伝統芸能を次世代に繋ぐ伝承活動のあり方についても探求する。</p>										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	「芸術文化にふれる機会がある」と答えた市民の割合 (市民意識調査)										
目標値：	平成 28 年度		30 %		⇒		平成 33 年度		40 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
%	%	%	%	%	%						
事業④：	後継者養成事業					実施団体：	大船渡市郷土芸能活性化事業実行委員会				
事業区分：	後継者養成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度				
事業概要：	<p>念仏剣舞、鹿踊り、虎舞、七福神、田植踊り6団体の後継者養成(特別講習会)を実施する。実施する各団体の現役会員を対象に固有の芸能の歴史・由来・芸態について講話し、継承の意義を理解させながらの実技指導を行い心と技を磨き、現在、継承されている全演目と合わせ、原形の習得と保存継承活動の気運を高める。</p>										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	「日頃から継続して何か芸術・文化活動をしている」と答えた市民の割合										
目標値：	平成 28 年度		12 %		⇒		平成 33 年度		20 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
%	%	%	%	%	%						